

第1部 基調講演

『先人の想いを繋いで』



特定非営利活動法人おかげ祭り保存会
理事長

川本 翰治氏

(株式会社都市総合開発研究所 取締役会長)

創業/1980年 年商/2億6,000万円
社員数/23名
事業内容/都市計画・固定資産調査コンサルタント
会社所在地/宮崎県都城市栄町24-2
TEL/0986-25-6603 FAX/0986-24-8770

会社経営をしながら、今や都城を代表する祭りである「おかげ祭り」を立ち上げて育ててきた川本氏。

祭りを希薄化する地域コミュニティの再生手段として、日本の祭りの仕組みや本質に学び、ひとえに「利他の心」に根ざした活動理念とともに、厳格な秩序の中での人づくりや住民の助け支え合いの絆で「結いの心」を育み、組織づくりなどの困難を克服して地域の絆や連帯の醸成に取り組んでいます。

このような想いがつまった祭り起こしは、会社経営にも通づるものがあります。人の繋がりが希薄になりがちな時代だからこそ、祭りや地域活動で大切な利他の精神、人を認め合い育て合う環境が企業活動に求められています。

また、長期化するコロナ禍で人と人との物理的な距離が制限される今だからこそ、より一層、人と人の気持ちの通い合う関係性が重視されています。利便性だけにとらわれず社会的な距離を密にして関わり合いをつないでいくことは地域にも会社経営にも共通する課題です。経営者の地域における役割や責任を再認識し、一人ひとりが主役になって10年後のみやざきをつくる重要なヒントを共に学び合しましょう。

同友会の三つの目的

●よい会社をつくろう

同友会は、広く会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします。

●よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

●よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

日時：2022年10月25日(火) 受付：12時半 開会：13時

会場：メイン会場 ホテル中山荘
都城市松元町3-20 ☎(0986)23-3666

分科会会場 グランドパティオ都城
都城市栄町3-2 ☎(0986)25-1122

会費：6,000円(経営者交流会は別途5,000円)

消費税法基本通達5-5-7に該当する共同行事のため、課税仕入れにはしないようにお願いします。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、完全オンライン開催に変更する場合がございます。

参加申込要項

申込方法

FAXか右記のQRコードの申込フォームよりお申込みください。
FAXの場合は、下記の申込用紙に必要事項をご記入の上、お申し込みFAX番号までお送りください。
会費は下記口座までお振り込みください。会費のご入金確認をもって申込み受付いたします。

申込フォーム



申込締切日 10月14日(金)

※10月15日以降のキャンセルはできかねますので、代理の方のご出席をお願いいたします。

振込口座

宮崎銀行 赤江支店(普) 1361474
口座名義 宮崎県中小企業家同友会
(振込手数料はご負担ください。)

事務局 宮崎市恒久南3丁目3-2 恒吉ビル2F
TEL (0985)50-3665 FAX (0985)50-3653
E-mail info@miyazaki.doyu.jp http://www.miyazaki.doyu.jp

参加申込み要項 お申し込みFAX番号 0985-50-3653

参加申込書 申込日 2022年 月 日

[参加希望分科会]第 _____ 分科会

経営者交流会に参加します(別途 5,000円)

会社名 _____ 役職名 _____

お名前 _____ 紹介者 _____

〒 _____
所在地 _____

TEL _____ FAX _____

事業内容 _____

メールアドレス _____



日本の
ひなた
宮崎県



第31回 みやざき 中小企業経営フォーラム

未来を拓く **経営者** の想い
～一人ひとりが主役になって
10年後の宮崎をつくる～

2022年10月25日(火)

《全体会・分科会》13:00～19:00

《経営者交流会》19:30～21:00

会場/ホテル中山荘・グランドパティオ都城

主催/ 宮崎県中小企業家同友会

後援/九州財務局宮崎財務事務所、宮崎県、都城市、小林市、えびの市、三股町、高原町、鹿児島県曾於市、公益財団法人宮崎県産業振興機構、宮崎大学産学・地域連携センター、宮崎学園短期大学、都城商工会議所、宮崎県信用金庫協会、株式会社宮崎太陽銀行、株式会社宮崎銀行

実行委員長あいさつ

第31回みやぎ中小企業経営フォーラムでは、「10年後のよりよい宮崎をつくる」という大きなめあてを掲げました。

中小企業を取り巻く経営環境はますます厳しさを増しています。そのような中で、我々経営者が、会社のビジョン実現や変革に取り組み、さらに宮崎の未来をつくる主体者となるためには何をしたらよいかをフォーラム実行委員会でご考えいただきました。

我々経営者が起爆剤となって働きかけ、産学官金の連携を通じて、この考えを宮崎県全体に広げ、これからの宮崎をつくっていきましょう。

第31回みやぎ中小企業経営フォーラム
実行委員長 渡会真也



第2部 分科会

※参加ご希望の分科会をお選び下さい。

第1分科会 共育ち



人が集まり、育つ会社へ
～社員は仲間！
共育ちの風土づくりが会社を変える～
株式会社 現場サポート 代表取締役社長
福留 進一氏 (鹿児島同友会)

創業/2005年 年商/10億5,000万円 社員数/72名(うちパートアルバイト3名)
URL/ <https://www.genbasupport.com/>
事業内容/建設業向けパッケージソフトウェアやクラウドサービスの企画・開発・販売・サポート、及び付随するコンサルティング・業務委託

OA機器メーカーの社員として働いていた福留氏は2005年、38歳の時に建設業向けのITサービスを主体とする株式会社現場サポートを創業、事業をスタートさせます。変化の激しいIT業界でお客様の働き方改革に寄与しようと様々な取り組みを開始。事業の拡大に伴って採用も積極的に進めます。そんな中、働く環境づくりが認められ九州第1号のユースエール企業として認定されました。

現在では社員数は70名を超え、売上は10億円を突破し順調に見える軌跡ですが、その背景には「社員は仲間」という強い信念があります。その信念が主体的に考え行動できる人材を育て、チームの相互理解・信頼関係を育てて高いパフォーマンスを生み出しています。福留氏の報告から共育ちの本質を学び、理想の会社づくりをめざしましょう！

第2分科会 地域づくり



私たちの未来、人口減少社会は可能性と希望に満ちている
～小さな町のチャレンジと戦略～
高鍋町 町長
黒木 敏之氏 (株式会社 黒木本店 代表取締役会長 宮崎同友会)

高鍋町役場URL/ <http://www.town.takanabe.lg.jp/>
株式会社 黒木本店URL/ <https://www.kurokihonten.co.jp/>

現高鍋町長であり、プレミアム焼酎「百年の孤独」などの焼酎を製造販売している株式会社黒木本店の会長でもある黒木氏。豊かで美しい「歴史と文教の城下町の再生」について、黒木氏は「懐かしい未来」そして「人口減少社会という希望」と言っています。

2022年3月1日高鍋町の人口は19,630人。ついに2万人を切りました。2040年には、日本の人口が1億人を切るといわれています。3人に1人が65歳以上の高齢者、宮崎県の人口は87万7千人の予想で、宮崎県内26市町村の内15の市町村が消滅するともいわれています。しかし、私たちが10年後の地域が抱える課題とその課題をチャンスと捉えることで地域の可能性と希望が見えてきます。行政と我々企業家が連携して取り組める地域づくりを共に考えましょう。

第3分科会 地域に根差す中小企業



人をつなぐ 地域をつなぐ 時代をつなぐ
～挑戦することが未来をつくる～
株式会社 トーコー 代表取締役社長
野口 和宏氏 (宮崎同友会)

創業/1985年 年商/1億8,000万円 社員数/13名(うちパートアルバイト3名)
URL/ <https://tohkoh1985.com/>
事業内容/贈答品・記念品の卸・小売業

都城唯一のフォーマルギフト専門店として創業37年になる株式会社トーコー。代表の野口社長は25歳の時に父が倒れ、急遽会社を継ぐために帰郷します。若さゆえに社員とのすれ違いから退職者が絶えない中、17年前、都城で開催されたフォーラムに参加したことで転機が訪れます。先輩経営者から社長としての覚悟を学び、経営理念の大切さに気づきます。

コロナ禍での冠婚葬祭の激減やイベントの中止でフォーマルギフトは、大打撃を受けましたが、カジュアルギフトやネット販売に力をいれていたところは逆に売上を伸ばしていました。同社でも「売る物」・「売り方」・「売り先」の3つの視点で事業を見直し、新たな分野への挑戦をはじめています。「つなぐ想い」を大切に挑戦し続けている野口社長の報告から地域に根ざし、共に成長する経営を考えあう分科会です。

第4分科会 地域との連携

企業も地域も「人」でつくれる。持続可能な地域づくりへの連携
～都城市・都城商工会議所・同友会の三者協定の取り組み～

パネリスト



都城市商工観光部
商工政策課
福留 剛志氏



都城商工会議所
中小企業相談所 所長
村上 昌弘氏



優企画株式会社
代表取締役
高濱 優子氏
(宮崎同友会)

コーディネーター

宮崎県中小企業家同友会
事務局次長
樋口 浩美氏

2013年に都城市、都城商工会議所、同友会の三者による「起業家育成支援の実施に関する協定書」が締結されました。その目的は、人的並びに知的資源の交流と活性化を図りながら、起業家育成を推進するとともに、事業者の増大並びに雇用の創出等に必要と認める事業を実施して、魅力あるまちづくりに寄与すること。

締結から9年、地域に必要なとされる経営者の育成を目的とした「創業塾」、起業家精神を醸成する「夢みる課外授業」と学校も巻き込みながら、産学官で連携して取り組んできました。それぞれの立場の中で、かかわる人の地域に対する想いの変化が起きています。この間の成果と課題を総括しながら、地域の未来を見据えた産学官の連携の在り方を考えあいます。

タイムスケジュール

10月25日(火)

場所
ホテル中山荘 グランドパティオ都城
(メイン会場) (分科会会場)

12:30	13:00	15:00	15:30	19:00	19:30	21:00
受付	第1部 全体会・基調講演	休憩	第2部 分科会	休憩	第3部 経営者交流会	

第3部 経営者交流会

学びを明日につなげよう

学びがあったからこそ深まる交流。
基調講演・分科会での学びを共有し、
明日から何を実践していくのかを確認しあいましょう。
学びあり、笑いありの交流会を準備しています。